

第Ⅰ期～第Ⅲ期 市民協働推進会議 事業報告書

I 市民協働推進会議が主催・共催した事業

No	事業名	実施主体と協働相手	開始時期	実施内容および成果 (検討中のものは期待できる成果)
1	<p>「市民活動によるまちづくり推進条例」広報ビデオの作成</p> 	<p>鯖江市が市民活動交流センターに業務委託 共同市民協働推進会議 共同</p>	<p>H16.3 完成</p>	<p>市民協働推進会議市民連携部会と鯖江市民活動交流センターの担当が内容についての事前打ち合わせを行い、主旨について十分に意思疎通を図り、企画内容について検討、調整した。</p> <p>鯖江市民活動交流センターに市が委託。出演者としてビデオ撮影に協力した。完成後、各種市民活動団体等の会合時に放映していただき、PRを行った。</p>
2	<p>市民活動団体等の活動にかかるアンケートの実施と活動紹介パネル展、交流会の開催等</p> 	<p>主催市民協働推進会議</p> <p>対象 各市民活動団体</p> <p>市が市民活動交流センターに業務委託した事業に参加</p>	<p>アンケート H16.12</p> <p>交流会 H17.1.29</p> <p>小冊子配布 H17.3</p>	<p>150団体にアンケート送付、84団体から回答を得て、集計、解析した。</p> <p><活動紹介パネル展> パネルでの紹介を了解された団体について活動内容をパネル化した。</p> <p>平成17年1月29日に開催した『さばえ元気まつり』時の市民活動団体交流会時に展示、紹介した。合わせて市民活動団体交流会として紹介パネルを活用しながら、それぞれの団体代表者が自団体の活動を紹介するとともに、PRも行った</p> <p>小冊子「市民活動団体の紹介」を作成配布する。</p>

3	<p>「市民によるまちづくり学習会」の開催</p> 	<p>主催市民協働推進会議</p> <p>対象 各市民活動団体</p>	H17.3	<p>テーマ：指定管理者制度と市民によるまちづくり ～東京都における委託管理と指定管理者制度の現状と課題～</p> <p>講師：NPO法人東京ランポ 理事 伊藤久雄氏</p> <p>参加者数：120名</p>
4	<p>夢を</p> 	<p>主催市民協働推進会議 鯖江市</p> <p>対象 市民活動団体</p>	H17.7.7 7.21 8.10	<p>人材養成講座を開催</p> <p>①コーディネーター： GNOM自然環境教育事務所 代表 坂本均氏 講師：(特)いしかわ市民活動ネットワークセンター 事務局長 青海康男氏</p> <p>「夢を描こう！ もう一度、市民活動を考えよう」</p> <p>②交流会「夢をつなごう！ 市民活動わいわいサロン」</p> <p>③講師：福井県子どもNPOセンター 理事長 岸田美枝子氏</p> <p>「夢を形に！ 市民活動を変える！」</p> <p>市民協働推進会議委員も一般応募者に交じってワークショップに参加した。特に、2回目の交流会において、多くの参加者とお互いの活動状況を知り合うことができた。</p>

5	<p>食育関連団体の意見交換会</p> 	<p>主催市民協働推進会議 (広報・連携部会)</p> <p>対象 各食育団体</p>	<p>H18.3～</p>	<p>市民活動団体間の交流を促進するため、同様のジャンルに分類される団体同士の意見交換会を実施。今期は試験的に、食育をテーマとした団体を対象として実施した。</p> <p>H18年度は、7、8、10月に、食育関係団体が連携しあえる事を見つけるためのワークショップを開催。団体間の交流の促進と連携体制の構築に寄与した。</p> <p>H19年度は、下記、市民活動人材養成講座で実施した、市民活動団体の交流会の席上で、食育関係団体に食事の提供を依頼し、活動成果の発表の場を提供した</p>
6	<p>市民活動人材養成講座</p> 	<p>協働で開催</p> <p>H18 市民協働推進会議 鯖江市</p> <p>H19 市民協働推進会議 NPOえちぜん 越前市 鯖江市</p>	<p>H18.4～</p>	<p>鯖江市の市民活動の活性化とリーダー養成のために例年実施している連続講座。市民活動に携わっている人たちの意見を取り入れ、より効果的な講座内容とするため、H18・19年度に鯖江市と市民協働推進会議が協働して講座を実施。講師の選定、講座内容の詳細な企画案などの検討を行った。</p> <p>H18年度、5回実施。講座参加者約165名。1日に2回の講座を開催し、より深い内容に触れることができるようにした。</p> <p>H19年度、5回実施。講座参加者約324名。委員の発案により越前市、NPOえちぜんと協働で開催。協働で実施する事により、高額な謝礼を要する講師を招聘できた。また、講座終了後、鯖江市と越前市のNPOの交流会を実施。市の枠組みを超えた交流を促し、市民活動の活性化の足がかりとすると同時に、食育関連団体の発表の場を提供した。</p>
7	<p>まちづくり基金事業の 見直し提案</p>	<p>主催市民協働推進会議 (協働事業発掘部会)</p>	<p>H20.6 ～ H20.12</p>	<p>第2期の市民協働推進会議の市長への提言に対する回答で、まちづくり基金事業の見直しにつき、「より多くの団体の意見を聴取していただき、再度、ベストな案をご提案いただき、それをもとに平成21年度から新たな募集体制で行いたい」との提案を受けた。それを受け、まちづくり基金事業を活用された団体のほか、市内の市民活動団体の皆さんを対象にアンケートを実施し、当事業のあり方や改正の方向性について議論を重ね、①補助金事業に始めて取り組むような団体を育成する部門、②それ以外の部門、に分ける案を基本とした見直し案をとりまとめた。※市民協働推進会議の見直し提案を受け、それに添った形で事業見直しが行われ、新たな体制で21年度のまちづくり基金事業を実施した。</p>

8	<p>市民活動人材養成講座 「伝えるコツを伝えよう」</p>	<p>主催市民協働推進会議 NPOえちぜん 越前市 鯖江市</p> <p>対象 市民活動団体</p>	<p>H20. 9. 27</p> <p>鯖江市の市民活動の活性化とリーダー養成のために例年実施している講座。 H19 年度の人材養成講座アンケートを参考に市民活動団体が聞きたい講座が何かを議論し、どの団体にも関係する広報（団体・イベント情報）を企画。 また、平成 19 年度同様にNPOえちぜんと協働することにより、限られた予算内ですばらしい講師を依頼可能とし、2 回にわたる講座を実施した。 講座終了後には講師と共に鯖江市・越前市等の市民活動団体・自治体関係者も交え交流会が行われ、それぞれの枠組みを超えた話し合いを行うことにより、活動の活性化となる場を提供した。</p> <p>講座参加者 55 名（2 回計）</p>
	<p>市民活動人材養成講座 「多世代の共生とシニアのボランティア」</p> 	<p>主催市民協働推進会議 鯖江市</p> <p>対象 市民活動団体、 一般市民</p>	<p>H21. 2. 22</p> <p>第 2 の人生を迎える団塊の世代を対象に、ボランティア活動の意義を講師自らの体験を交えながら説明。今後の生き方の選択肢の一つとして理解してもらうことで、市民活動および地域活動参画へのきっかけをつくった。 また、鯖江市民活動交流センターの協力により、講演後、ボランティアの相談窓口を設け、受付。（1 件相談有） 講座参加者 24 名</p>
	<p>市民活動人材養成講座 「共感を呼ぶ企画書・申請書づくり」「そのプレゼンテーションで伝わりますか？」</p>	<p>主催市民協働推進会議 NPOえちぜん 越前市 鯖江市</p> <p>対象 市民活動団体</p>	<p>H21. 3. 7</p> <p>NPO越前との共催により、新年度の助成金申請に向け、広報戦略講座を開催。前回行われた講座でもポイントとなった「相手に伝える」ことを意識しつつ技術的な説明もあり、実用的な講座となった。 講座終了後には講師と共に鯖江市・越前市等の市民活動団体・自治体関係者も交え、交流会が行われ、それぞれの枠組みを超えた話し合いを行うことにより、活動の活性化となる場を提供した。</p> <p>講座参加者 73 名</p>

<p>9</p>	<p>市民活動サミット</p> 	<p>主催市民協働推進会議 (広報・連携部会)</p> <p>対象 市民活動団体</p>	<p>H21. 1. 24 H21. 6. 20</p>	<p>各分野の市民活動団体がまちづくりを進める上で、お互い知る場が整備されているのだろうかとの意見から実施。</p> <p>第1回市民活動サミット 各分野の規模の大きな団体 10 か所 23 名が参加。団体紹介や自団体の分析、情報交換を行った。情報共有の意識啓発、共に何を指すのかと意識の芽生えを得ることが出来た。</p> <p>第2回市民活動サミットでは主に指定管理を受けている各分野の市民活動を中間支援する7団体に呼びかけ(6団体15名参加)、中間支援組織や連携の必要性について協議。</p> <p>既に市民活動の連絡協議会を行い、市民活動の支援を活動理念としている「さばえNPOサポート」より、各団体が中間支援の意識をもち、共有することが必要であると出席者に呼びかけた。</p> <p>市民活動推進の為に必要な場所づくりの第一歩を踏み出すことが出来た。</p>
<p>10</p>	<p>まちづくりサポーターとの ワークショップ・交流会</p> 	<p>主催市民協働推進会議</p> <p>対象 まちづくりサポーター</p>	<p>H19. 5 H20. 6. 24</p>	<p>市のまちづくりサポーターとのワークショップを実施。</p> <p>第Ⅲ期の課題は「ハッピー実行委員会」「ふれあい農園」「公園利用促進地図」「車椅子マラソン」について協働することにより効果があがる事業の発見に努めた。</p>

II 市民協働推進会議として参加した事業

No	事業名	実施主体と協働相手	開始時期	実施内容および成果 (検討中のものは期待できる成果)
1	まちづくり基金事業への協力 	主催 鯖江市	H18.4～ H21.6.	H18年度より始まった鯖江市のまちづくり基金事業へ、市民協働推進会議会長等が審査委員として参加した。
2	鯖江市災害ボランティアセンター連絡会および鯖江市防災総合訓練への参加 	協働団体 鯖江市 鯖江市災害ボランティアセンター連絡会	H16.11～ 訓練実施 H19.8 H20.8 H21.8	鯖江市災害ボランティアセンター連絡会に委員を派遣した。 鯖江市の実施する防災総合訓練に参加。 市民協働推進会議委員は、災害ボランティアセンターおよび現地ボランティアセンターの立ち上げ研修に従事。 同センターにおけるボランティア派遣業務のシミュレーションと、一般住民のボランティアセンターでの派遣依頼体験を行った。
3	さばえ男女共同参画ネットワークへの協力	協働団体 鯖江市(男女参画・市民活動課) さばえ男女共同参画ネットワーク	H20.5 結成	H20年5月18日に結成されたさばえ男女共同参画ネットワークに委員を派遣し、会の運営に積極的に関わった。

Ⅲ 市民協働推進会議がコーディネートした事業

No	事業名	実施主体と協働相手	開始時期	実施内容および成果 (検討中のものは期待できる成果)
1	協働パイロット事業の指定と 評価アンケートの実施	<p>協働団体 河和田地区生ごみを資源に変える会 (特)かわだ夢グリーン、かたくりの会、婦人会、区長会等) 鯖江市(環境課)</p> <p>協働団体 (特)鯖江市民活動交流センター(コミレス実行委員会) 鯖江市(総務課)</p>	<p>H16. 4. 27</p> <p>H16. 10. 7</p>	<p>市民団体等から、事業案を2件受け付け、審査の結果、2件をパイロット事業に指定した。</p> <p>・第1号 「生ごみ分別収集」 生ごみ分別収集とリサイクル事業の本格スタートに向けた、基礎調査、啓発活動による市民意識の向上および生ごみ分別の排出・堆肥化方法の検討。</p> <p>・第2号 「嚮陽会館軽食・喫茶室におけるコミュニティーレストラン運営事業」 地産地消、食の安心安全、障害者・老人・女性の社会参加を目指したノーマライゼーションの推進を目的に市民・市民活動団体・企業・行政等が協働し、嚮陽会館軽食喫茶室で市民参加型の店舗を開設し、営業を行う。</p> <p>評価アンケートの実施 上記2件の事業の当事者(市民側・行政側の双方)に、事業の評価に関するアンケートを送付し、回答を得た。</p>
2	<p>「鯖江市屋外広告物美化委員連絡会」の結成</p> 	<p>協働団体 鯖江地区少年警察協働員会 鯖江地区人権擁護委員会 鯖江市補導委員会3 青少年健全育成鯖江市民会議 NTT西日本福井支店 北陸電力株式会社丹南支店 鯖江市(都市計画課)</p>	H19. 3～	<p>平成19年3月に、市民協働推進会議の発議によって結成された「鯖江市屋外広告物美化委員連絡会」の活動の一環として、平成21年7月5日(日)に、美化委員の委嘱式、美化委員制度の説明、一斉除却作業に参加した。</p> <p>また会の主要役員と、「連絡会」の今後の活動方針について協議を行った。</p>

3	<p>高齢者等支援事業の 相互連携協定の締結</p> 	<p>協働団体 鯖江市壮年グループ連絡協議会 鯖江市民生委員児童委員協議会連合会 鯖江市（社会福祉課）</p>	H19. 4～	<p>1人暮らしの高齢者・障がい者の家にある粗大ごみの搬出を支援し、生活環境の向上に寄与する事業として、H18年度、鯖江市壮年グループ連絡協議会が開始。民生委員を通じて対象者への情報の発信・収集を行い、壮年グループ連絡協議会がごみの搬出にあたる。 この事業の安定した実施のために、市民協働推進会議の提案により、相互連携協定化が実現した。また、平成18年度、19年度のまちづくり基金事業に採択された。</p>
4	<p>F 多言語情報発信事業に関する 相互連携協定の締結</p> 	<p>協働団体 鯖江市国際交流協会 特定非営利活動法人 たんなん夢ラジオ 鯖江市（秘書広報課）</p>	H19. 4～	<p>F M放送を通じ市内に在住する外国人に対し、日常的に行政情報等地域で生活するために必要な情報を提供する事業を実施するにあたり、関係者の間で、役割分担と相互連携の提携を行う「相互連携協定」を締結するコーディネートを行った。 協定締結後、たんなんFMで平成19年4月から中国語と日本語による情報提供番組「ニーハオさばえ」が始まっており、生活情報、地域情報、市からのお知らせ、音楽などを日本語と中国語を交えながら放送している。放送時間は、第2・第4土曜日のお昼12時30分から20分間</p>
5	<p>出会い交流サポート事業</p>	<p>主催 鯖江市（児童福祉課） 協働団体 各受託団体</p>	H19. 4～	<p>児童福祉課の出会い促進事業、フレンドリーのつどいは、これまで鯖江市と婦人福祉協議会が共催で毎年実施していた。H19年度、委員の提案により、市内のあらゆる団体から事業実施を募集する形式に変更した。複数の団体が独自のアイデアで事業を企画することにより、画期的な企画の出会い促進事業の実施が期待される。 H19年度、5団体が受託。その内の一つは市民協働推進会議の委員が中心となって企画運営。</p>

6	<p>子育てサポーター養成講座の 共同開催および COSAPO の結成</p> 	<p>協働団体 ナルクふくい さわやかさばえボランティア 虹 市連合婦人会 鯖江市地域で育む子育て支援 ネットワーク</p> <p>鯖江市 (子育て支援センター) COSAPO= (子育てサポーター)</p>	<p>H19. 4～ COSAPO 設 立 H21. 10</p>	<p>平成 19 年に、市実施の「子育てサポーター養成講座」および(財)21 世紀職業財団実施の「保育サポーター養成講座」を、市民協働推進会議 がコーディネートすることで共同開催した実績を踏まえ、平成 20 年度、 21 年度に引き続き「子育てサポーター養成講座」「子育てサポーター研 修会」を市民委員の協力も得ながら実行委員会形式で実施した。 その成果を踏まえ、平成 21 年 10 月 9 日(金)、同養成講座出身の有志 の発意により子育てサポーター登録者の会 COSAPO (約 100 人が参加) が設立され、地域の子育て支援に市民が自発的に取り組む活動をスター トさせた。</p>
7	<p>鯖江駅東線イルミネーション事 業の相互連携協定の締結</p> 	<p>主催 特定非営利活動法人 コンフォートさばえ</p> <p>協働団体 鯖江市 (道路河川課、都市計画課)</p>	<p>H19. 12 ～冬場 H20. 12 ～冬場</p>	<p>J R 鯖江駅東から、三里山に続く鯖江駅東線のうち、駅から文化セン ター間の街路樹や建物等に、冬期間、イルミネーションを点灯し、イメ ージアップ等を図る事業について、推進会議委員 (コンフォートさばえ 関係) からの提案を受け、事業化の検討を行い、平成 19 年度、20 年度 のまちづくり基金事業に採択された。</p>
8	<p>おでかけサポート センター事業の 市民協働パイロット事業認定</p>	<p>協働団体 さわやかさばえボランティア 虹</p>	<p>H21. 5. 認定</p>	<p>H19 年 7 月 19 日付けで(特)さわやかさばえボランティア虹から市民 協働推進会議委員長宛てに協働パイロット事業計画書が提出され、市民 協働推進会議協働事業発掘部会で事業化に向けた検討に入った。 2 期にわたる検討の結果、計画書で提案された事業のうち、外出サー ビスに関する情報提供・相談、当該事業に対する広報を当面メイン事業 とし、その上で幅広い市民の協力体制づくりを行い、配車・取次ぎサー ビスの充実を図った上で、将来の本格的なセンター運営を目指してい</p>

				く、という形で、「第3号市民協働パイロット事業」の認定を行った。 ※提案者や他の支援者が、まちづくり基金事業の補助支援を受け、「おでかけサポート」冊子を作成した。
9	ふれあい農園交流事業	協働団体 日の出町住民 越の郷地球環境会議、 特定非営利活動法人 エコプラザさばえ 鯖江市（鯖江幼稚園、王山保育所）	H21. 4. 17 実施	平成20年6月実施された、まちづくりサポーターとのワークショップから明らかとなり、元王山保育所跡地の有効活用を、日の出町住民と越の郷地球環境会議、(特)エコプラザさばえおよび市（鯖江幼稚園、王山保育所）が協働で取り組むコーディネートをを行い、平成21年4月17日関係者が一堂に会してふれあい農園事業が開始された。
10	相互連携協定の協定締結の コーディネート	①鯖江駅東線景観形成事業 特定非営利活動法人 Comfort さばえ ②外国人ママの子育て支援事業	① H20. 5. 29 ～H23. 3. 31 ②H20. 5. 29 ～H21. 3. 31	以下の2つの事業について、関係市民活動団体と市との間で相互連携協定を締結する際のコーディネートを行なった。 ①平成19年度に市民協働推進会議の発案で実施した「鯖江駅東線景観形成事業」 ②鯖江市国際交流協会と市との協働事業として企画した子育て中の外国人ママの子育て支援事業 子育てサークル「Yochi Yochi」
11	協働コーディネーターの委嘱		H20. 5. 29	数年間のあいだ空席となっていた協働コーディネーターを委嘱するにあたり、第2期の市民協働推進会議の市長への提言をふまえ、過去2期、市民協働推進会議の委員を務めた方に委嘱することとし、平成20年5月29日に委嘱式を行なった。